

NEWS RELEASE

2017年（平成29年）11月27日

国立情報学研究所・LINE 株式会社が共同研究へ 覚書を締結して共同研究部門設置など協議

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）と LINE 株式会社（LINE、代表取締役社長：出澤 剛、東京都新宿区）は本日 11 月 27 日に共同記者会見を開催し、研究の発展や研究開発業務の強化を図るための共同研究に関する覚書を締結して、2018 年度に共同研究部門を設置するなどの具体的な取り組みについて協議を始めたことを発表しました。NII と LINE は共同で、「Robust Intelligence（ロバストインテリジェンス）」と「Social Technology（ソーシャルテクノロジー）」を主軸とした社会課題解決のための強^{きょうじん}靱な知識基盤の研究に取り組んでいく予定です。

今回締結した覚書に基づき、NII と LINE は共同研究部門^(*)の設置について検討していきます。現時点では、同部門は NII に置かれ、LINE が同研究部門の運営経費など両者の共同研究に必要な経費を負担する予定です。具体的な研究の課題や範囲などについては、今後協議します。

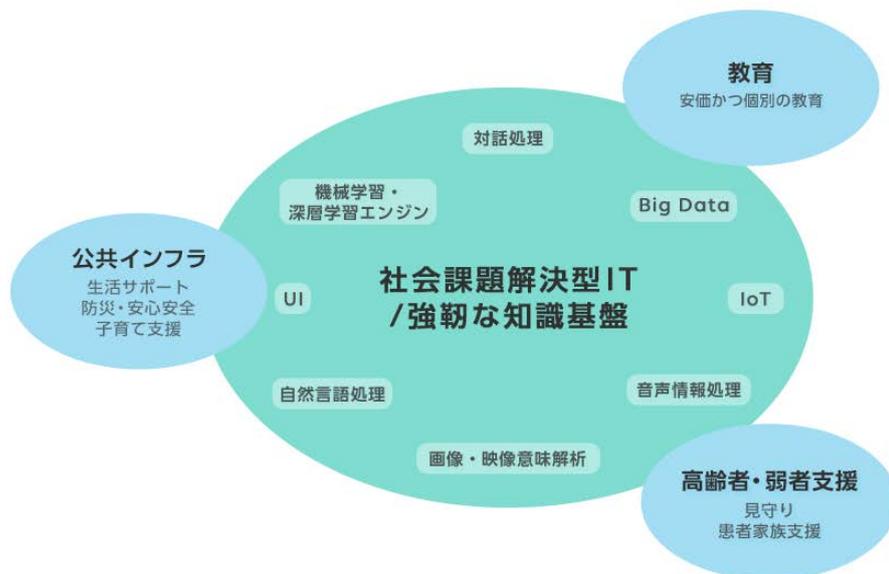
NII は大学共同利用機関^(*)として、全国の大学や研究機関と連携・協力して研究や事業を行っています。本共同研究においては、NII を中心に大学や他の研究機関からも研究者を募り、来年度の共同研究部門設置時には、京都大学、東北大学からも研究者が参加する予定です。次年度以降は他機関からの参加の規模を拡大し、より多くの機関の研究者が参加する態勢を作っていくことを念頭においています。

LINE は所属する研究員やエンジニアを共同研究に参加させるほか、自社内に NII と連携して研究を行う研究部門を設置する予定です。また、同社のスマートスピーカー「Clova WAVE」関連技術などの技術提供も予定しています。

今回 NII と LINE が設置を検討している共同研究部門は、「Robust Intelligence」と「Social Technology」に主眼を置いている点が特色です。常に変化し、多様性のある現実世界の環境に対応する強靱さを兼ね備えた知的能力をもち、社会課題を解決できるような情報技術（IT）の研究開発に取り組んでいきます。

共同研究部門の名称は「Center for Robust Intelligence and Social Technology（CRIS）」を予定しています。

覚書の締結は 2017 年 11 月 17 日付です。



〈図〉 共同研究部門の研究範囲のイメージ

※本件に発表に関する国立情報学研究所 所長 喜連川 優、ならびに、LINE 株式会社 代表取締役社長 出澤 剛のコメントは別紙をご覧ください。

以上

〈メディアの皆様からのお問い合わせ先〉

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
 総務部企画課広報チーム
 TEL:03-4212-2164 FAX:03-4212-2150
 E-mail : media@nii.ac.jp

記者会見は 11 月 27 日 13 時より、NII で開催しました。本ニュースリリースは NII から文部科学記者会と科学記者会に資料提供しているほか、NII、LINE それぞれの関係メディアの方々にもお送りしています。同一メディアの複数の部署・記者の方に重複して配信される場合がありますことをご了承お願いいたします。

(*1)「共同研究部門」： 公益性が高く研究上有意義で優れた成果が期待できる研究部門を民間機関などから受け入れる経費等を活用して設置・運用するための情報・システム研究機構の「共同研究部門制度」を利用して設置する予定。

(*2)「大学共同利用機関」： 個別の大学単位では設置や維持が難しい最先端の大型装置をはじめ、大量の学術データや貴重な資料、分析法などを全国の研究者に無償で提供し、個々の大学の枠を越えた共同研究を推進するわが国独自の研究機関。

〈別紙〉

NII 所長・喜連川 優（きつれがわ・まさる）のコメント

「NII と LINE は、商業的価値を追い求めるのではなく社会課題解決という観点から、新しい分野である Robust Intelligence と Social Technology により、社会にどのような新しい武器を提供することができるのか、共同で研究していきたいと考えています。NII は大学共同利用機関としてすべての大学のすべての学問に対してサービスを提供するのがミッションであり、今回は NII の研究者だけではなく他の大学の研究者にも幅広く参加して貰う枠組みにしていこうと考えています。」

LINE 代表取締役社長・出澤 剛（いでざわ・たけし）のコメント

「現在、LINE では、AI アシスタント『Clova』の開発に全力で取り組んでおりますが、この分野は、世界的に見ても非常に競争が激しい分野です。今回、情報学における基礎論から人工知能やビッグデータ、IoT、情報セキュリティといった最先端のテーマまで幅広く研究を行っている NII と共同で、AI を含む、Robust Intelligence と Social Technology という研究分野にチャレンジできることに大変期待をしています。新設に向けて協議を開始した本共同研究部門の成果では、日本の英知を集結し、LINE の AI 分野への応用に限らず、様々な社会課題の解決に寄与していきたい考えです。」



〈写真〉 記者会見終了後に握手を交わす NII 喜連川所長（左）と LINE 出澤代表取締役社長